



2021年11月14日(日)東京平成ライオンズクラブ撮影

“あおぞら共和国”は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、2020年度は4月と5月と6月と1月と2月の5か月間、2021年度は5月と8月の2か月間利用を休止にしました。現在は利用を再開しており多くのご家族にご利用をいただいております。ただし、まだ新型コロナウイルス感染症が収束しているわけではないので、感染症対策として、1家族単位での施設利用予約のみ受け付け、団体での利用は休止にしております。その他にも、他家族との相互接触を避けていただいたり、滞在中のマスクの着用などをお願いしております。

〈あおぞら里山づくり〉

作業中の写真



作業後の写真



サントリー白州工場との里山づくりを行うきっかけは、「機関紙がんばれ！ Vol184」に記載されていた「あおぞら共和国の里山づくり」の記事でした。「賛同してくれる地元の方を探したい」を読んで、サントリー白州工場の担当者様から業務の一環として社員を参加させて地域貢献活動をしたいと相談をいただきました。そこで、毎月第3水曜日の9時～12時までの3時間の間に作業を行うことになりました。作業内容は、下草刈りや遊歩道の整備、ツリーデッキ制作、メモリアル植樹エリアの整備などです。去年の3月から12月(8月はお休み)までの9回実施し、累計で70名のサントリー白州工場の皆さんに参加していただきました。ありがとうございました。

〈利用者の声〉

先日は大変お世話になりました。

会報で拝見しておりました整備された林道や広場は、松ぼっくりを拾いながら散策させて頂きました。

今回は久しぶりの滞在、子供が希望していた乗馬や釣りを楽しみました。都内では感じる事ができない、自然から与えられる沢山の事に触れ合い、改めて感謝するばかりでした。

私達家族がこの様な豊かな時間を過ごせるのも、皆さまのおかげでございます。ありがとうございました。



〈正門ゲート(仁志田ゲート)が完成〉

4本のアーチは難病の子どもを支える4本の腕をイメージしています。1本目家族の支え、2本目社会の支え、3本目医療従事者の支え、4本目仲間の支えとなっています。“あおぞら共和国”に行った際は、是非眺めてみてください。



〈ご寄贈の報告〉

- ・相模原西ロータリークラブさんより、八重桜(イチヨウ、カンザン、フゲンゾウ)15本とレッドロビン4本
 - ・青山学院大学のボランティアサークルの学生さんから、クラウドファンディングで集めたお金で手作りハンモック3台
 - ・甲府一高あおぞら会さんから、フロアベッドのキャスターセット、サイドテーブル、吊り上げシート入浴用、シャワーチェア、差し込み式サイドレール、ガートルスタンド、移動式リフト、床ずれ予防マットレス、床ずれ防止のシンプルなエアマットを合わせて9点もの介助用品をご寄贈いただきました。
 - ・ベッドはフランスベッド株式会社様から展示品をご提供いただきました。
 - ・株式会社Qlife様より木馬を寄贈いただきました。
- ご寄贈いただきました皆さまありがとうございました。



※レスパイト施設
あおぞら共和国®

〒408-0316

山梨県北杜市白州町鳥原

字向林2913-134

Mail:aozora@nanbyonet.or.jp

認定NPO法人

難病の子ども支援全国ネットワーク

〒113-0033

東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル

TEL:03-5840-5972

FAX:03-5840-5974

Web:http://www.nanbyonet.or.jp

Mail:ganbare@nanbyonet.or.jp